



Ⅲ. 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立

- 正組合員の減少や世代交代など組合員の多様化により、組合員の顧客化や「わがJA」意識の低下、意思反映や運営参画の機会が減少した組合員の増加が課題となっています。

このため、JAは、「声を聴く」・「共有する」取組みにおいて、組合員から組織活動やJA運営の参加意向、多様化した組合員のニーズを把握し、事業利用の拡大とあわせて、組合員の地域農業と協同組合への理解を深め、意思反映と運営参画をすすめます。

また、組合員組織や支店の活性化により、組合員の「参画」の場をつくり、組合員の意思反映・運営参画をすすめることにより、組合員のアクティブメンバーシップに取り組みます。

(*)アクティブ・メンバーシップとは？

組合員が積極的に組合の事業や活動に参加すること。
JAにおいては、組合員が地域農業と協同組合の理念を理解し、「わがJA」意識を持ち、積極的な事業利用と協同活動に参加すること。

1. 正・准組合員のメンバーシップの強化(重点実施分野 **h**)
2. 准組合員の「農」に基づくメンバーシップの強化(重点実施分野 **i**)

